

第5学年1組 ふれあい学習（総合的な学習の時間）学習指導案

令和2年11月26日（木）第4校時
場 所 体 育 館
児 童 数 33名
指 導 者

1 単元名 よりよい暮らしをつくろう ～私たちがつくる未来～

2 単元目標

- (1) 問題の解決に必要な手順があることを知り、学校生活や地域での生活にコンピュータを活用することの有用性に気付くことができる。【知識及び技能】
- (2) 必要な情報を整理・選択し、試行錯誤しながら継続的に改善して、自分が思い描いた道具や機械の動きを実現することができる。【思考力・判断力・表現力等】
- (3) 「自分にできることは何か」の視点をもって、学んだことを自らの生活や行動に生かそうとする態度を養う。【学びに向かう力・人間性等】

3 児童の実態

4 教材について

総合的な学習の時間の学習指導要領解説の第4章には、「プログラミング的思考」について、「自分が意図する一連の活動を実現するために、どのような動きの組み合わせが必要か、どのように改善していけばより意図した活動に近づくのかということ論理的に考えていく力の一つである。」とある。また、このような思考力は、どのような進路を選択し、どのような職業に就くとしても、これからの時代において共通に求められる力であるとされ、発達の段階に応じて論理的思考能力を育成し、コンピュータの動きをよりよい人生や社会づくりに生かそうとする態度を涵養することが求められている。

第5学年は、周囲と自分の関係性について、自分と他者という双方向的な考え方から、徐々に自分と集団、自分と社会という多方向的な考え方へと視野が広がる時期である。見つめる世界が広がることで、学校全体、あるいは家庭、地域への自分自身の関わり方についても関心を高めさせていきたいものである。そこで、本教材では、地域と自分の生活の関わりに目を向け、そこから解決すべき課題を見つけて、自分のもつ情報活用能力や問題発見・解決能力を「地域のよりよい生活の実現」に生かそうとする態度を身に付けさせたいと考えた。

しかし、実際の児童の生活の様子を振り返ると、家庭や地域の生活と児童自身の関わりはまだ受動的なものが多く、児童自身が地域の生活の中に解決の必要がある課題を見出すのは難しい。そこで、前段階として、児童にとって身近な学校生活を見直し、自ら課題を見つけ、プログラミングや情報機器を活用して解決する過程を経験させるとともに、コンピュータを活用して生活をより快適にしたり、効率化したりすることのよさを感じさせたい。そして、地域についても、学校生活と同じように自分の力で改善できることはないか考えさせ、それを実現する達成感を味わわせたい。

5 学校研究主題との関連

(1) 研究主題

新しい社会を生き抜く児童の育成
～プログラミング的思考を軸とした情報活用能力の育成～

(2) 目指す児童像

ア 探究的な学習の過程において、情報に関わる知識・技能や経験をもとに、課題に対する解決方法を見いだすことができる児童。

イ 物事を多面的・多角的に捉え、問いを見だし、課題を立て、根拠や理由をもって課題解決ができる児童。

ウ 探究的な学習に主体的・協働的に取り組む中で、よりよい生活を求めて、試行錯誤を繰り返したり、粘り強くやり抜いたりすることができる児童。

(3) 研究の仮説

ア 情報機器を扱うための基本的な技能を習得させるとともに、ゴールや課題解決のために必要な材料を明確にさせた授業を展開することで、見通しをもって課題解決に向かうことができるであろう。

イ 自分の考えを支える情報を整理し、根拠や理由を明確にして、他者の考えと比べながらよりよい方法を見つけさせることで、論理的に課題解決をすることができるであろう。

ウ 自分や友達のよさを認め合ったり、活動を進めていく中で生まれた問題について、友達と一緒に解決させたりすることで、よりよい生活をつくり上げようという態度が育つであろう。

(4) 手立て

ア 解決すべき問題を見出してからロボットやマイクロビットの使い方を学習することで、活動の見通しをもたせる。

イ ゲストティーチャーを計画的に活用し、課題解決に相手意識をもたせるとともに、課題を多角的・多面的に捉えられるようにする。

ウ 小グループで活動することで、一人一人が考えをもって活動に参加できるようにする。

6 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>①「自動化」や「機械化」によって、自分の生活をよりよくすることができることを理解している。</p> <p>②実現したい動作について、必要な手段や手順を見つけ、実行している。</p> <p>③学校全体や地域に関わる自分の態度や行動の変容は、「地域のよりよい生活」について探究的に学んだことによる成果であると気付いている。</p>	<p>①課題の解決に向けた計画の作成にあたり、活動の内容とその目的を意識し、解決の見通しをもって計画を立てている。</p> <p>②「よりよい生活」の実現に向けて、いろいろな人の視点に立って、情報を集めている。</p> <p>③「誰にとってよりよい生活なのか」「実現可能か」「効率化や自動化が実現できるか」等の視点を結び付けて、試行錯誤して改善し、機械の必要性を見出している。</p> <p>④機械の目的や必要性や機械にこめた自分の思いと、実現できた機械の動作を結び付けて発表している。</p>	<p>①地域(学校)のよりよい生活の実現という目的に向け、自分自身で設定した課題の価値を理解している。</p> <p>②自分と異なる意見や考えを生かしながら、協働的に探究活動に取り組んでいる。</p> <p>③自分の知識や技能が生活の改善に生かせることに気付き、学校や地域のためにできることを考え、行動している。</p>

7 単元の指導計画・評価計画(36時間)

過程	○学習活動 ・児童の思考 ◇情報機器の活用に関する学習	・指導上の留意点 ○評価(評価方法)
課題の設	<p>○社会科の自動車の話から、センサーで動くものや自動化が進められている身の回りの物について考える</p> <p>・自動ドア ・自動の水道、トイレ</p>	<p>・自動車の学習では、利便性や環境、安全など様々な目的で機能が改良されていたことを確認し、機械そのものだけでなく、開発の目的にも注目させる。</p>

<p>定 (6)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・冷蔵庫 ・街灯 ・自転車のライト ・車のカギ ・信号機 ・音声案内 <p>○前時に出たものの中から、自分が気になったもののしくみや作られた理由を調べる。</p> <p>○調べたことを発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・センサーで動いている。 ・プログラミングで動いている。 ・高齢者や障害者にも使えるように工夫している。 ・安全に使えるように工夫している。 ・無駄がないように工夫している。 ・手間を減らすために自動化している。 (ミスや間違いを減らす目的) <p>○学校内で自動化されたり、コンピュータに手伝ってもらったりするとよい場面を考え、「みんなの生活を助けたり、手伝ったりするものを作って、よりよい生活を手に入れよう」という課題を設定する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・プログラミングが関わっていることや自動化を目指す理由や目的があることを理解させる。 <p>○知・技① (発言、ワークシート)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「安全」「みんなが助かる」「いろんな人が使いやすくなる」「無駄をなくせる」など、機械を作る目的を確認し、具体的な場面を想定できるようにする。 <p>○態① (振り返りカード)</p>
<p>情報 の 収 集 (2)</p>	<p>○自分の経験から、学校生活の課題を見出す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ピロティでケガが多い ・階段や廊下で人とぶつかる ・防犯 (不審者など) の対応 ・掃除してもすぐ汚れてしまうところがある ・電気や扇風機の消し忘れ <p>○教頭、校務員、養護教諭にゲストティーチャーにきてもらい、節電、節水、安全、けが防止、清掃などの観点で学校の課題を知る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の意見をまとめていくときに「無駄を減らす」「安全」「ケガ」「清掃」などに分類していく。 <p>・次時で、グループの友達に内容を伝えることを伝え、どんな観点で聞き取るかを明確にさせる。</p> <p>○思・判・表② (ワークシート)</p>
<p>整理 ・ 分析 (11)</p> <p>本時</p>	<p>○グループで聞き取ったことを伝え合い、解決したい問題を絞る。</p> <p>◇ロボット (動かしてみよう) でできることを知る。</p> <p>◇マイクロビットでできることを知る。</p> <p>○解決したい問題と使う機器を決める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マイクロビットを使えば、音声案内のようなものを作れそうだね。 ・ロボットでドアが開いているかどうかチェックできないかな。 <p>○必要な動きと手順を考える。</p> <p>○実際に機器を動かして、プログラムを修正</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「誰のため」「どうしたいから」など、解決の目的をはっきりさせる。 <p>○思・判・表① (ワークシート)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各機器のセンサー機能と解決したい課題を結び付けて実現可能な計画を立てるように助言する。 <p>○思・判・表③ (発言、ワークシート)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シミュレーションを重ねて、実際に動かす前に修正できるところがないかを確認させる。 ・修正点と修正方法についてある程度見通

	する。	しを持たせてから活動に入るように指導する。 ○ 知・技 ② (発言、行動、振り返りカード) ○ 態 ② (発言、行動、振り返りカード)
まとめ・表現 (4)	○作成したプログラムのポイントと機械の特徴についてまとめ、発表の練習をする。 ○教頭、校務員、養護教諭に来てもらい、作った機械について発表する。 ○振り返りをする。	・作った目的を確認させ、目的と成果が伝わるように発表をさせる。 ・GTからの意見を聞くことで、児童に学校に能動的に関わることができているという達成感や有用感を味わわせるとともに、アイデアの有効性を考えさせる。 ○ 思・判・表 ④ (発言、行動) ・できたことだけでなく、これからの学校生活に生かしたいことも考えさせる。 ○ 知・技 ③ (発言、振り返りカード)
小課題の設定 (2)	○地域に視点を広げ、同様に解決できる、解決したい問題はないか話し合う。 ・もっと人がいてくれれば安心なところはどこだろう。 ・ケガや事故が多いのはどういうところかな。 ・地域の人が助けてほしいと思っていることは何かな。 ○「地域の安全」に目を向け、「地域の安全を守るためのものを作ろう」という課題を設定する。	・「安全」「みんなが助かる」「いろいろな人が使いやすくなる」「無駄をなくせる」など、機械を作る目的を確認し、具体的な場面を想定できるようにする。 ○ 態 ① (振り返りカード) ・児童の発言から「交通事故」「不審者対応」「けがの防止」などのキーワードを出していき、課題解決の方向性を明確にする。
情報の収集 (1)	○ゲストティーチャーの話を聞き、地域の視点から登下校時の問題について考える。	・立場が変わることで見える課題も異なることに気付かせる。 ○ 思・判・表 ② (ワークシート)
整理・分析 (7)	○聞き取ったことから、解決したい課題を見つける。 ○ドローンでできることを知る。 ○グループで話し合い、作りたいものを決める。 ○必要な動作を考える。 ○実際に機器を動かして、プログラムを修正する。	・学校の課題を解決したときの知識や技能で生かせることがないかという視点で考えさせる。 ○ 態 ③ (発言、ワークシート) ・他グループとも意見交換をし、よりよい動きを目指すように促す。
まとめ	○作成したプログラムのポイントと機械の特徴についてまとめ、発表の練習をする	

め ・ 表 現 (3)	る。 ○ゲストティーチャーに来てもらい、作った機械について発表する。 ○振り返りをする。	・GTからの意見を聞くことで、児童に地域に能動的に関わることができているという達成感や有用感を味わわせる。 ○思・判・表④(発言、行動)
-------------------------	--	---

8 本時の学習指導(18/36時)

(1) 目標

- ・自分と異なる意見や考えを生かしながら協働的に探究活動に取り組み、試行錯誤しながら継続的にプログラムを修正して、よりよい動作を表現しようとしている。【主体的に学習に取り組む態度】

(2) 展開

学習活動	・指導上の留意点 ○評価(評価方法) ☆学校研究主題	準備	時間
1 前時の学習を振り返る。	・前回、機械を動かしてみつけた修正点について確認する。 ・いくつか修正点があるグループは、修正の優先順位を決めることを確認する。	タブレット ロボット マイクロビット	2
2 本時のめあてを確認する。	プログラムを見直して、機械の動きをより理想に近づけよう。		2
3 プログラムの修正をする。	・修正したい点とその方法をグループ全員で確認してから作業に入るように指示する。		20
4 実際に機械を動かして、修正箇所の動作を確かめる。	・機械を何度か動かし、修正ができているか確かめさせる。 ☆活動3と活動4を繰り返し、機械の動きをよりよく改良するように促す。 ・今日の修正が終わったグループは、さらに必要な動きがないか話し合わせる。		
<p>○自分と異なる意見や考えを生かしながら協働的に探究活動に取り組み、試行錯誤しながら継続的にプログラムを修正し、よりよい動作を表現しようとしている。【主体的に学習に取り組む態度】(発言、行動)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Aの児童 自分の考えと友達のことを比べ、話し合いの中でよりよい改善方法を見つけている。 ・Bの児童 自分の考えを友達に伝え、話し合いながらプログラムの修正に参加している。 ・Cの児童 自分の考えを言えず、作業のみに参加している。 ・C→Bの手立て プログラムと実際の動きのつながりを一緒に確かめ、回数や角度など改善できそうなところを見直すように促す。 			

<p>5 3つのグループが今日までの成果を発表する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 発表グループは、今日の修正の目的と実際にできたこと（または、うまくいかなかった点）を説明できるようにする。 ☆聞くグループは、他のグループのプログラムで自分のグループにも生かせることを見つけたり、発表グループの修正について自分の考えを生かせる部分がないかを考えたりしながら聞くように助言する。 	<p>ホワイトボード</p>	<p>8</p>
<p>6 ゲストティーチャーからこれから期待することについて話を聞く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> さらなるレベルアップができるようなヒントがないかを考えながら話を聞くように助言する。 		<p>3</p>
<p>7 本時の学習のまとめと振り返りをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> グループごとに次回の修正点を簡単に確認する。 グループ内で今日自分が果たした役割についても振り返らせるようにする。 	<p>学習計画プリント</p>	<p>5</p>

9 板書計画

プログラムを見直して、機械の動きをより理想に近づけよう。

<今日やること>

①どこを修正するか確認する。

②どう直すとよさそうか話し合う。

③プログラムを直す

④実際に動かして確かめる。

<今日の発表チーム>

学習計画

10 ICT活用計画

- ・タブレット8台
- ・ロボット
- ・マイクロビット
- ・大型モニター

◎学校の中で機械に手伝ってもらいたいところを考えよう

安全について

- ・けが人を運ぶ、助ける
- ・給食の検査
- ・学校のいろんなところに体温センサーをつける

安心について

- ・不審者発見装置
- ・自動ドア
- ・学校の訪問者のチェック
- ・不審者の情報を知らせるもの
- ・学校の出入り口の監視

そうじについて

- ・学校の床ふき
- ・モーターにブラシやクイックルワイパーをつけて・・・
- ・よごれ探知機

無駄を減らす(時間の短縮、手間を減らす)

- ・給食のはいぜん
- ・人感センサー付きライト
- ・一定時間で電気がつく(消える)
- ・まどあけの自動化
- ・温度に反応してエアコン
- ・温度計型ロボット
- ・放送
- ・エスカレーター
- ・朝の検温
- ・ジャンプ台運び
- ・自動水やり

これらの児童の意見を念頭に置きつつ・・・、

○児童が知らない(あまり目にしていない)仕事

○仕事で気になること

・・・よく汚れている場所、けがの多いところ、

窓やドアがよく開いているところ など

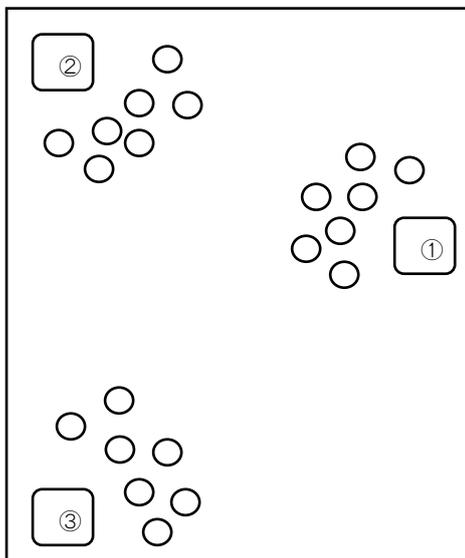
○仕事で大変なこと(人がもっといれば楽なのに!機械があると時間短縮に!)

など、話していただき、子供たちに「学校には大変そうなところがいっぱいあるぞ。」「先生や学校のみんなが楽になったり、安心できたりするものが作れないかな。」と思わせたいので、「とにかく大変だよ!」と強調していただきたいです・・・

9月28日 2時間目 図工室

ねらい ゲストティーチャーの仕事内容や仕事の大変なところを聞くことで、児童が考える「学校内の問題」や「学校内で不足していること(もっとよくなりそうなこと)」が、より多面的、多角的になり、問題意識を深めることができる。

	学習活動	指導上の留意点
10	1 今日の学習の目的を確認する 2 学習の流れを確認する	○次時には、活動グループに戻って、聞いたことを伝え合うことを確認し、グループの代表で聞いている意識をもたせる。 ○「安全」「防犯」「節約」「清掃」などのキーワードを出して、話を聞くときの観点をはっきりさせる。
20	3 グループにわかれ、GT の話を聞く 4 GT に質問したり、詳しく聞きたいことをさらに聞いたりする	○聞きながらメモできることと、あとでまとめることを考えながら話を聞くように助言する。
5	5 聞いた内容をまとめる	○聞いている間にまとめきれなかったところをまとめたり、メモを整理したりする時間を取って、次時へとつなげる。
5	6 今日の学習の振り返りをする	○GT の先生方に聞いて、新しく分かったことや、課題解決に生かせそうなことをふりかえるようにうながす。



- ① 福田先生
② 教頭先生
③ 石川さん
- ※各グループ22人程度になります。
※先生方はいすに、児童は床に座ります。
※その場での質問もあるかと思いますが、答えられる範囲で大丈夫です。
※活動②のあと、場所を移動します。
※活動⑤の前に、黒板前に来ていただき、全体であいさつをしたら終了です。

5-1

1	温度計	マイクロビット 1
2	雨もり感知センサー	マイクロビット 1
3	安全・安心ロボ	マイクロビット 2 ロボット 1
4	見回りロボット	マイクロビット 2 ロボット 1
5	検温	マイクロビット 1
6	たぐはいロボット	ロボット
7	不審者報告	マイクロビット 2
8	不審者連絡	マイクロビット 2

5-2

1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		

名前く

く

課

＜理由を整理するポイント＞ ○だれのために機械をつくるのか

○なぜ、機械化するといいのか

○機械をつくと学校がどんないいことがあるそうか など

取り組みたいこと①

取り組みたい理由

取り組みたいこと②

取り組みたい理由

学校にどうして機械を取り入れたいのか・・・！

時間を短しゅくできる

大変な作業をかんたんにできる

人だけでは大変なことを手伝ってもらえる

人の目が必要なところに機械を

**人の代わりに機械がやることで、
人はちがう仕事をできる**

☆つくるもの

☆ねがい

日付	よくできた！	あと一歩！	次こそこうする！
/			
/			
/			
/			

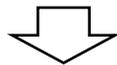
総合的な学習の時間 ふれあい ～私たちがつくる未来～

名前()

○調べるもの

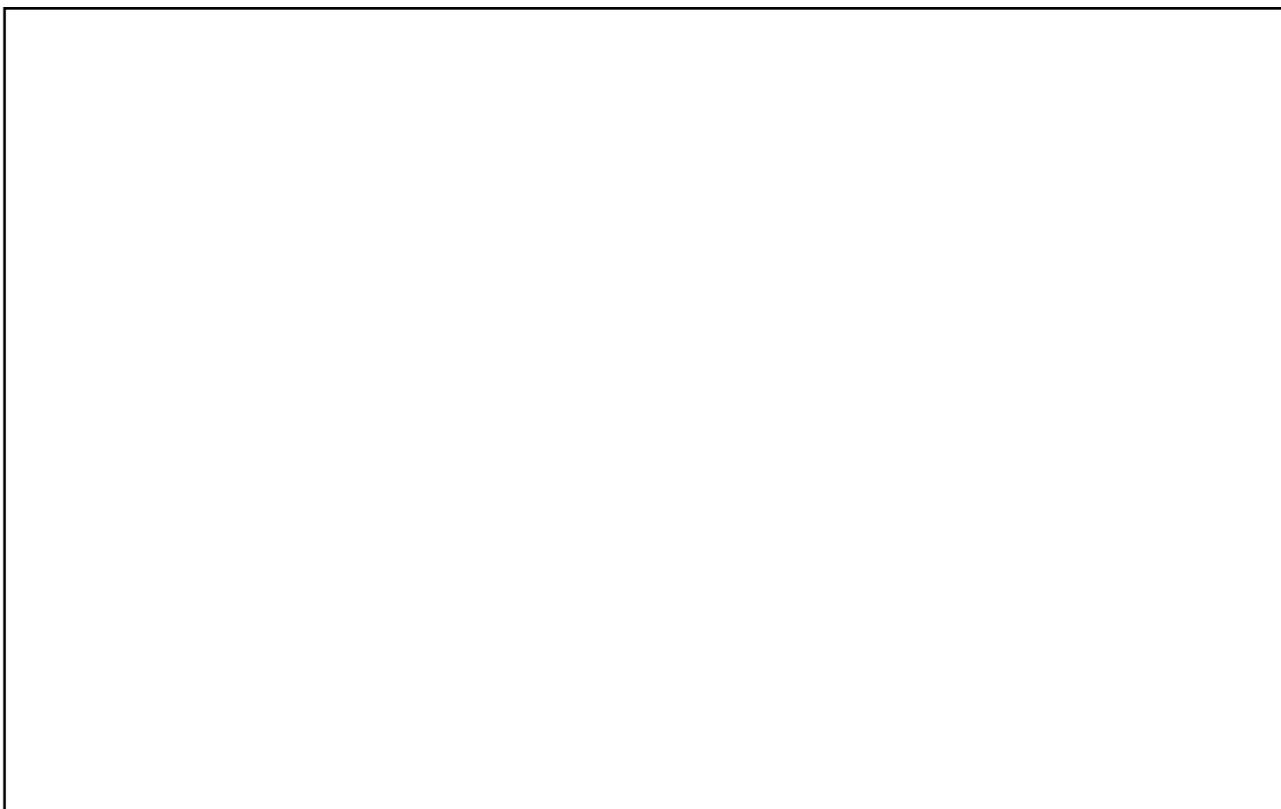
○調べたいこと

☆道具・機械の**動きやしきみ**を調べて、**動きの流れ**をまとめましょう。



☆ どの道具は、だれにとってどのように便利なのか調べましょう。

※うまく情報が出てこない場合は、自分なりの考えをまとめてみましょう。



☆ その他に調べて分かったことがあれば、メモしておきましょう。

(例:その道具の初期と最新のちがい、より塚やすくするための工夫や機能、など)



GT 前の解決したい問題探し

① 学校で自動化、機械化が必要なわけを確認する。

- ・人の手や目がたりないところがある ・だれにとっても使いにくいところがある
- ・時間がかかっているところを機械に手伝ってもらいたい
- ・機械が人の代わりに仕事することで、みんなの生活が助かる

② 実際に、自分が困った経験、大変だった経験を思い出す。

※口頭で話し合い、黒板にまとめる

③ 学校の中で、機械に手伝ってもらいたいところを考え、ふせんに書く。

※考えが浮かばない子には、こんなかんで助言？

- ・委員会で大変だなど思うことはない？
- ・先生の仕事を見ていて、もっと人がいればいいのと思うことはない？
- ・自分たちがやっていること(給食、掃除など)で機械でもできそうなことはない？
- ・学校に起こりそうな問題で、見張っている人がいると安心できることはない？
(不審者、けが、お客さんなど)

④ ふせんに書いたことを発表してもらい(10人程度)、黒板に分類しながら書く。

→

安全	安心	そうじ	むだを減らす
----	----	-----	--------

 に分類しながら板書

④ グループの台紙を配り、自分たちのふせんを台紙に分類しながらはる。

⑤ 学校の問題って意外と見つからないねって話になり、GTを頼んでいる話をする。

「防犯」「節約」のプロ、教頭先生

「安全」「保健(衛生)」のプロ、福田先生

「掃除」「修理」のプロ、石川さん

3人の仕事の内容や、仕事で大変なこと、手伝ってほしいことを聞いて、学校のことをもっと深く知ろう！

⑥ グループ内で役割分担の話合い

⑦ 質問を考えさせる。

--

総合的な学習の時間 ふれあい ～私たちがつくる未来～

名前()

☆ゲストティーチャーに聞いてみたいことを考えよう

自分の担当ティーチャー

聞いてみたいこと

アイデア				
分類				
だれのため				
学校がどうなるか				

☆つくるもの

☆使う道具

☆しくみ(かんたんに)

(何をすると)

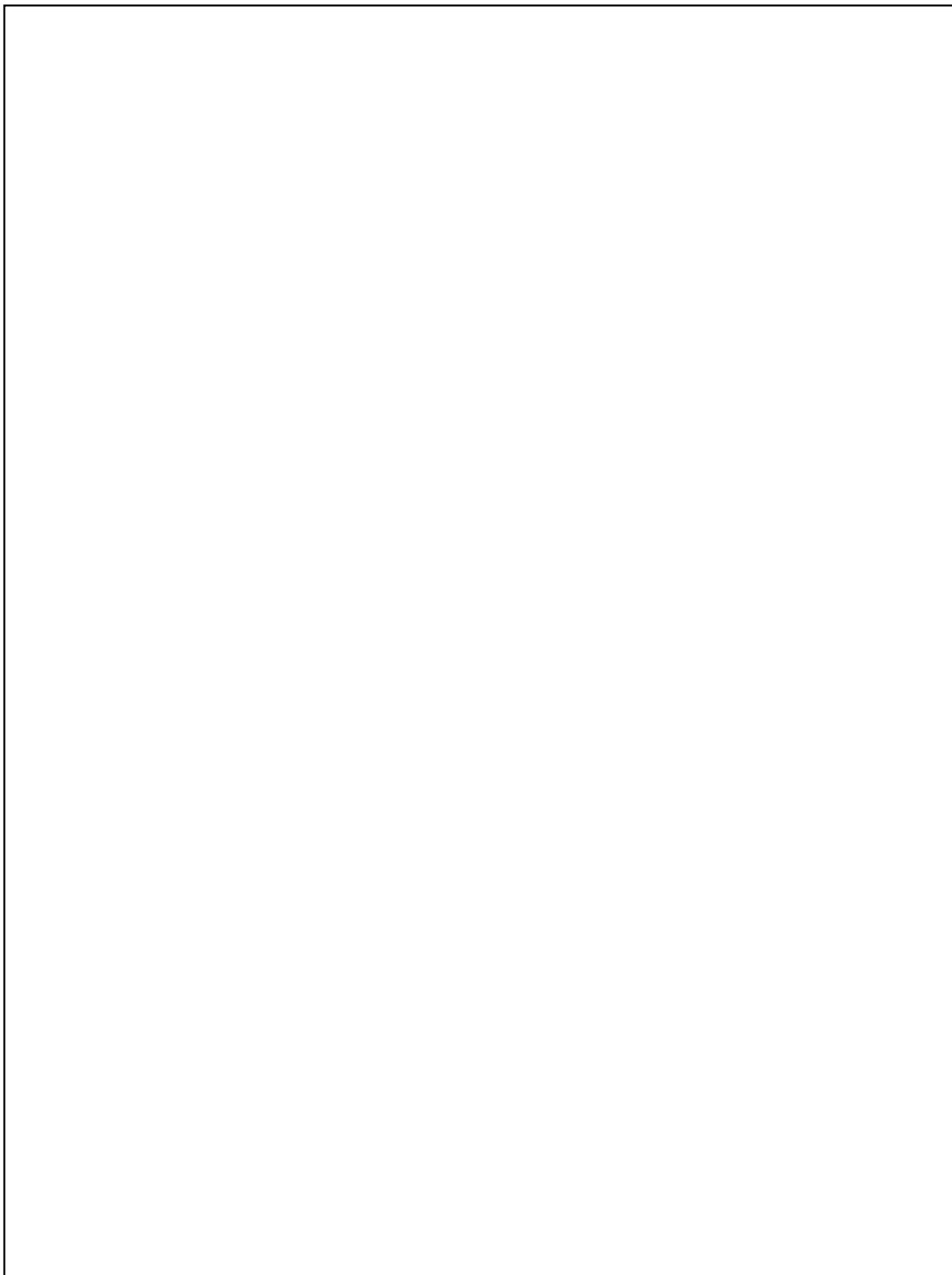
(すると、

。

(機械がどうなる)

☆しくみ(動きの流れ)

絵でかきたい場合はここを使いましょう。(完成予想図やロボットにつける道具など)



☆グループで調べたことを発表しよう。

- ①機械の動きの流れ ②だれにとってどのように便利か ③そのほか調べたこと

☆グループ

機械や道具の動きについて共通していること、似ているところを見つけよう。

(例) スイッチを押して動き始めるところ

☆グループ

「だれにとってどのように便利か」のところで共通していること、似ているところを見つけよう。

(例) 高れい者でもかんたんに使えるようにしているところ

☆全体

便利な機械や道具に共通しているキーワードを集めよう。

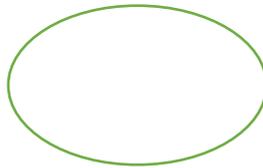
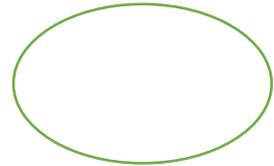


総合的な学習の時間 ふれあい ～私たちがつくる未来～

年 組 名前 ()

課題 生活していく中で、便利だと思った道具・機械をたくさん見つけよう。

学校



気になった道具や機械

理由

今日のふりかえり

教頭先生 5年 総合 児童から出た質問(一部)

- ・一番大変な仕事はなんですか。
- ・仕事をしていて、不便だと感じたことはありますか。
- ・一番時間がかかることは何ですか。
- ・仕事中にトラブルがあったことはありますか。

- ・かぎしめや見回りにどれくらい時間(一日何回くらい)がかかりますか。
- ・見回りをしていて、電気やエアコンがつけっぱなしだったことはありますか。
- ・見回りで気を付けていることはありますか。
- ・見回りで不安なことはありますか。

- ・安心・安全を守るために、大変なことはなんですか。
- ・安心・安全を守るうえで、意識していることはありますか。

- ・お客さんの対応をするときに大変なことはありますか。

福田先生 5年 総合 児童から出た質問(一部)

- ・一番大変な仕事は何ですか。
- ・誰かに手伝ってもらいたい仕事はありますか。
- ・時間がかかって大変なことはありますか。

- ・どのようなところでけがが多いですか。
- ・何年生のけがが多いですか。
- ・一年間でどれくらいの児童が保健室に来ますか。
- ・インフルエンザが一番多い時期はいつですか。

- ・トイレや水道のチェック(ペーパー、ソープ等)で、もっと楽になるといいと思うところはありますか

- ・検診のときに大変なことはありますか
- ・検診で「〇人入ってください」などというのは大変ですか。

石川さん 5年 総合 児童から出た質問(一部)

- ・一番たいへんなのはどの仕事ですか。
- ・そうじで困っていることはありますか。

- ・草かりはいつやっているのですか。
- ・草かりでは機械を使っていますか。
- ・落ち葉はいつもどのくらい落ちていますか。
- ・落ち葉を集めるのに、どんな道具を使っているのですか。
- ・台風のアとは落ち葉が多いですか。
- ・草かりや落ち葉集めで、手間だと思ふことはありますか。

- ・水やりはどのくらい時間がかかりますか。
- ・花壇の手入れで気を付けていることはありますか。
- ・花壇の管理はどのようにしているのですか。

- ・修理をするときは、どの程度こわれていたら決めるのですか。
- ・1つのものを修理するのにどのくらい時間がかかりますか。
- ・どんなものを修理しているのですか。
- ・道具などを作るときは、どのような工夫をしていますか。

- ・どんな道具を使って仕事をしていますか。

総合的な学習の時間 学習計画

名前 _____

今日のふりかえり

- ① プログラミングや自動化されたものの役割や必要性について理解できた。
- ② 情報を集めたり、整理したり、組み合わせたりして、目標とする状態に近づけることができた。
- ③ 自分と友達の考えを積極的に交流させ、自分の考えを見直したり、次への課題を見つけたりすることができた。

単元名 私たちがつくる未来			
月/日	学習内容	学んだこと	評価(◎○△)
/	身の回りの道具や機器 について調べよう①		①
/	身の回りの道具や機器 について調べよう②		①
/	調べたことをまとめよう		①
/	調べたことを発表しよう		①

総合的な学習の時間 ふれあい

/	課題設定をしよう		③	
/	学校の中にある問題を見つけよう		③	
/	ゲストティーチャーに話を聞こう		③	
/	グループで取り組む課題を決めよう		③	
/	ロボットでできることを知ろう①		②	
/	ロボットでできることを知ろう②		②	
/	マイクロビットでできることを知ろう①		②	

総合的な学習の時間 ふれあい

/	マイクロビットでできることを知ろう②		②	
/	どんな道具をつくるか決めよう		③	
/	必要な手順と動きを考えよう①		②	
/	必要な手順と動きを考えよう②		②	
/	実際に動かしながら、改良しよう①		③	
/	実際に動かしながら、改良しよう②	☆	③	
/	実際に動かしながら、改良しよう③		②	

総合的な学習の時間 ふれあい

/	発表の準備をしよう		①	
/	発表会をしよう		①	
/	ここまでのふりかえりをしよう		③	

総合的な学習の時間 学習計画

名前 _____

今日のふりかえり

- ① プログラミングや自動化されたものの役割や必要性について理解できた。
- ② 情報を集めたり、整理したり、組み合わせたりして、目標とする状態に近づけることができた。
- ③ 自分と友達の考えを積極的に交流させ、自分の考えを見直したり、次への課題を見つけたりすることができた。

/	地域でも解決できないか考えよう		③	
/	課題設定をしよう		③	
/	ゲストティーチャーの話を聞こう		③	
/	グループで取り組む課題を決めよう		③	
/	ドローンでできることを知ろう①		②	

総合的な学習の時間 ふれあい

/	ドローンでできることを知ろう②		②	
/	どんな道具をつくるか決めよう		③	
/	必要な手順と動きを考えよう		②	
/	実際に動かしながら、改良しよう①		②	
/	実際に動かしながら、改良しよう②		③	
/	発表の準備をしよう		①	
/	発表会をしよう		①	

総合的な学習の時間 ふれあい

/	ふりかえりをしよう		③	
---	-----------	--	---	--